

覚書

一 日光宮様^江之御手懸り下冷泉宰相様
右^者日光宮様「虫損」様^{ニ而}御座候徳田主水
取次ヲ以御出入^ニ相済御不便被為思召
乍恐私儀寸志之御願関東^江罷下り候節^者
則從冷泉様御書ヲ以

日光宮様^江御願被為遊被為下候儀^ニ御座候
一 西ノ御丸様大上臈おりせ御方様
右おりせ御方様御里元桜井三位様
則三位様御妹姫様也

おりせ様姉姫様松平大和守様御母堂様也
主水事元来松平大和守様より出候徳田家也
依之大和守様^江御出入仕候^ニ付桜井様^{江茂}御
懇意^ニ御出入仕候就夫私義も主水取持ヲ以御出入^ニ
相済^{江府}罷下り候節^者從三位様

おりせ御方様^江御頼御書被為遣可被下之儀^ニ御座候
一 公方様御側御用人加納遠江守様

御内用人

富樫弥助様

金子文治様

右御方様^江御手懸り 鞍馬山命寿院

京都革堂行願寺

右式ヶ寺兼帯

智泉院

役者吉祥院

此命寿院儀^者私共代々宿坊檀縁^{ニ而}御座候
尤右之命寿院義加納遠江守様御内富樫弥助様へ
所縁御座候由^ニ付依之遠江守様^江乍恐御願之寸志
御内證被仰上被為下候様^ニ奉願候處^ニ御請込
宜敷御座候尤例歳鞍馬山御札御持参^{ニ而}
命寿院^{江戸}御下り被成候、則当年正月十一日^ニ

(貼紙)「去三月」

京都御出足被成候「去月二月」御帰京被成候然^者御頼
申上候一儀右之弥助様ヲ以御頼被仰上被下處^ニ

愈其者江府^江罷出候ハ、御不便^ニ被為思召可被為下旨
弥助様より命寿院^江被仰候之旨命寿院被仰聞候
儀^ニ御座候

右 御堂上様方御手懸り之趣御内證事^{ニ而}
御座候、以上

大谷九右衛門

(貼紙)「己二月」

(貼紙下)「辰ノ四月カ」